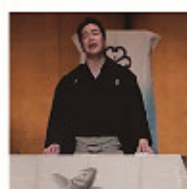




小田原市文化創造活動担い手育成事業レポート

Report 2017





文化の芽を育てよう

ODAWARA CREATIVE

■ はじめに

小田原市では、市民ホールの開館に向けて、小田原の文化の裾野を広げ、芸術文化創造活動の担い手を育成するため、アウトリーチなど芸術文化の普及に取り組むとともに、ワークショップやセミナーを開催し、多くの市民が文化に触れ、理解を深める機会を創出する事業を実施しています。

このレポートは、平成29年度に「小田原市文化創造活動担い手育成事業」等として行われた事業の結果を、写真とともに紹介するものです。

■ 事業の4つの方法

文化創造活動担い手育成事業は、大きく分けて、4つの方法で展開しています。共通するテーマでセミナー・鑑賞を行ったり、連動してワークショップを行ったりするなど、様々な人たちに向けて芸術文化の持つ魅力や感動を蓄積し、市民ホール開館に向けて「文化の芽」を育てていきます。



■ おだわら文化事業実行委員会

文化創造活動担い手育成事業の一部は、一般財団法人 小田原市事業協会と、市民代表者からなる「おだわら文化事業実行委員会」が実施しています。

事業名に《◎》のついているものは、おだわら文化事業実行委員会が主催、協力などを行っています。



■ 市民ホール整備事業

老朽化した市民会館に替わって、新たに造られる予定の市民ホール。小田原市では「必要な機能・性能」「優れたデザイン」「低コスト」の三要素を備えた「シンプルで使いやすく、質の良いホール」を求めてきました。平成30年1月、事業者と事業協定を締結し、平成33年秋のオープンに向け設計を進めています。

■ 「シンプルで使いやすく、質の良いホール」とは

- ①音響効果などに優れ、芸術文化の多様性や将来の可能性に対応できる機能的で使いやすいホール
- ②障がい者・高齢者・子どもなど、誰もが快適・安心に利用できる、人に優しいホール
- ③気軽に訪れることができる親しみやすさを確保し、まちの回遊性を向上させるため、にぎわいの創出ができるホール
- ④市のシンボルである小田原城のほぼ正面に位置することから、歴史ある都市としての機能をより強化する、景観に配慮したホール
- ⑤市の厳しい財政状況の中、建設費用だけでなく、中長期的な視点で維持費用なども軽減できる、コストに配慮したホール

■ 設計・整備事業者

鹿島建設・環境デザイン研究所共同事業体

年間事業カレンダー

OR：アウトリーチ WS：ワークショップ

日付	曜日	ジャンル	内容・回数	鑑賞・参加者数	回数	会場	子ども向け	共催
4月								
19	水	WS	鍵盤ハーモニカ・ワークショップ①	11	1	市民会館	○	
23	日	鑑賞	かもめコンサート① 小嶋陽太ノールリサイタル	134	1	かもめ図書館		○
5月								
7	日	WS	おだわら市民ミュージカル 出演者オーディション	60	1	市民会館		
13	土	鑑賞	わらび座ミュージカル「KINJIRO！」	700	1	市民会館	○	○
14	日	WS	おだわら市民ミュージカル 稽古開始(～8月25日まで、全49回)	1,390	49	市民会館他		
31	水	WS	鍵盤ハーモニカ・ワークショップ②	12	1	市民会館	○	
6月								
10	土	OR	下中小アウトリーチ(タンゴ)	371	1	小学校	○	
18	日	セミナー	文化セミナー① 地域発・住民主体のアートプロジェクト	30	1	UMECO		
24	土	WS	スクランブル・ダンスプロジェクト①	29	1	三の丸小		
27	火	OR	矢作小アウトリーチ(クラリネット&アコーディオン)	537	2	小学校	○	
28	水	WS	鍵盤ハーモニカ・ワークショップ③	10	1	市民会館	○	
7月								
21	金	WS	鍵盤ハーモニカ・ワークショップ④	10	1	市民会館	○	
29	土	鑑賞	鍵盤ハーモニカ・ワークショップ発表会	110	1	文学館	○	
29	土	WS	手作りカホンワークショップ(きまつり協力事業)	13	1	いこいの森	○	○
29	土	WS	おだわら・コドモ・アート お魚のお面をつくろう@みなとまつりイベント	60	1	ハルネ	○	
8月								
2	水	WS	高校生のための舞台美術・演劇ワークショップ	53	1	市民会館		
6	日	美術	おだわら・コドモ・アート お魚のお面をつくろう@みなとまつり	69	1	みなとまつり	○	
26	土	鑑賞	おだわら市民ミュージカル「小田原時空写真展」(26日・27日)	1,060	2	市民会館		
9月								
2	土	セミナー	文学と映像 ～創り出す力～	147	1	市民会館		
5	火	WS	アートマネジメント・ワークショップ(1月30日まで、全14回)	66	14	UMECO他		
16	土	フェス	小田原イズム2017	2,500	1	アリーナ		○
16	土	鑑賞	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 金管五重奏 びよびよコンサート	345	1	けやき	○	○
17	日	美術	おだわら・コドモ・アートINハルネ 秋のカラーテープアート	44	1	ハルネ	○	○
20	水	OR	城南小アウトリーチ(クラシックバレエ)	278	1	中学校	○	
24	日	鑑賞	かもめコンサート② 音楽家のたまごたち	101	1	かもめ図書館		○
26	火	OR	翌川小アウトリーチ(和太鼓)	303	1	小学校	○	
27	水	OR	千代小アウトリーチ(声楽)	91	1	小学校	○	
10月								
4	水	OR	富士見小アウトリーチ(和太鼓)	285	1	小学校	○	
8	日	フェス	小田原城ミュージックストリート	30,000	1	市街地		○
18	水	OR	曾我小アウトリーチ(造形美術)	93	2	小学校	○	
24	火	OR	東富小小アウトリーチ(打楽器)	511	2	小学校	○	
30	月	OR	芦子小アウトリーチ(和太鼓)	235	1	小学校	○	
30	月	OR	龍羽小アウトリーチ(打楽器)	139	1	小学校	○	

日付	曜日	ジャンル	内容・回数	鑑賞・参加者数	回数	会場	子ども向け	共催
11月								
1	水	OR	下府中小アウトリーチ(打楽器)	360	1	小学校	○	
2	木	OR	下曾我小アウトリーチ(声楽)	34	1	小学校	○	
6	月	OR	酒匂小アウトリーチ(打楽器)	58	1	小学校	○	
7	火	OR	新玉小アウトリーチ(狂言)	120	1	小学校	○	
7	火	OR	白山中アウトリーチ(落語)	160	1	中学校	○	
9	木	OR	三の丸小アウトリーチ(現代ダンス)	78	1	小学校	○	
10	金	OR	片海小アウトリーチ(和太鼓)	96	1	小学校	○	
13	月	OR	早川小アウトリーチ(打楽器)	31	1	小学校	○	
16	木	OR	大窪小アウトリーチ(打楽器)	183	1	小学校	○	
18	土	WS	小田原カホンフェスティバル	108	2	市民会館	○	
22	水	OR	町田小アウトリーチ(声楽)	325	1	小学校	○	
22	水	美術	市民会館所蔵絵画展示(26日まで)	250	4	市民会館		○
23	木	美術	現代美術ワークショップ おだわら・城町アートプロジェクト	122	4	旧瀬戸たばこ店		
24	金	OR	富水小アウトリーチ(打楽器)	586	2	小学校	○	
24	金	OR	桜井小アウトリーチ(和太鼓)	294	1	小学校	○	
25	土	WS	スクランブル・ダンスプロジェクト②	26	1	三の丸小	○	
26	日	美術	現代美術ワークショップ みんなでカラダで絵をかくてみよう	200	1	鶴トラ市	○	
12月								
20	水	WS	伝統芸能ワークショップ 伝統芸能体験講座 人形浄瑠璃	50	1	市民会館	○	
1月								
6	土	フェス	オドリズム2018	800	1	市民会館		○
20	土	セミナー	文化セミナー特別編「文化資源×アート」様々な可能性を考える	41	2	内野邸		○
21	日	セミナー	文化セミナー②「人形浄瑠璃の歴史と相模人形芝居」	84	1	市民会館		
27	土	鑑賞	アートマネジメント・ワークショップ制作事業 「相州小田原語り道 玉川太郎浪曲会」	158	1	市民会館		
28	日	鑑賞	かもめコンサート③ 相原隆利郎ピアノリサイタル	99	1	かもめ図書館		○
2月								
4	日	セミナー	文楽プレセミナー 人形浄瑠璃	98	1	市民会館		
17	土	WS	能楽ワークショップ 日本の伝統文化を体験しよう	52	1	市民会館	○	○
24	土	WS	スクランブル・ダンスプロジェクト③ 発表会・シンポジウム	105	1	市民会館		
24	土	セミナー	文化セミナー③シンポジウム「障がいのある人もない人も共に楽しむ共生社会に向けて」	81	1	市民会館		
3月								
4	日	OR	はじめ塾アウトリーチ(打楽器)	50	1	市民会館	○	
11	日	鑑賞	人形浄瑠璃 文楽 公演	848	2	市民会館		
17	土	WS	おだわら・コドモ・アートINハルネ 春のカラーテープアート	56	1	ハルネ	○	○
21	水・祝	フェス	小田原ロックフェス2018	1,000	1	市民会館		○
合 計				46,350	139		40	15
前年度				11,037	99		32	3
前年度比				35,313	40		8	12

声楽・器楽

声楽

【日・場】①9月27日 千代小学校 ②11月2日 下曽我小学校
③11月22日 町田小学校

【出】①秦 貴美子(ソプラノ)、枝野朝子(メゾソプラノ)、鈴木香織(ピアノ)
②秦 貴美子(ソプラノ)、清水宏樹(バリトン)、神保道子(ピアノ)
③秦 貴美子(ソプラノ)、磯地美樹(メゾソプラノ)、
新津耕平(テノール)、清水宏樹(バリトン)、神保道子(ピアノ)

【内】声楽とピアノで、オペラの名曲から小田原ゆかりの白秋の童謡、映画音楽などの歌曲を楽しみました。小学校の合唱発表会に向けて、プロによる合唱指導も行いました。



タンゴ

【日・場】6月10日 下中小学校

【出】オルケスタYOKOHAMA(池田達則:バンドネオン、齋藤一臣・専光秀紀:
ヴァイオリン、齊藤直樹:コントラバス、齋藤 品:ピアノ)

【内】横浜を中心に活動する「オルケスタYOKOHAMA」。リーダーの齋藤さんの軽妙なおしゃべりと、タンゴ特有のリズムを刻む特徴的な楽器バンドネオンの音色が響き渡りました。



打楽器

クラリネット&アコーディオン

【日・場】6月27日 矢作小学校

【出】SPICY4(岡田久常:アコーディオン、
深江 彰・井上 弦・池田めぐみ:クラリネット)

【内】クラリネット3本とアコーディオンのアンサンブルで、クラシックからポップスまで、楽しいアレンジとパフォーマンスを交えながら演奏しました。



マリンバ&パーカッション



【日・場】10月24日 東富水小学校
11月24日 富水小学校

【出】マリンバ・パーカッショングループTONES
(木村奏子、小畑 寛、平野有希子)

【内】マリンバを中心としたパーカッショングループTONESによる打楽器アウトリーチ。子どもたちはマリンバのリズミカルな音色と一緒に歌ったり、ボディパーカッションをやったりして身体を使ってリズムを楽しみました。



【日・場】11月6日 酒匂小学校

【出】一丸聡子・大橋恵里(マリンバ、パーカッション)、
田中 葵(ピアノ)

【内】「打楽器で世界旅行をしよう!」をテーマにした打楽器のアウトリーチ。様々な打楽器を駆使して、様々な国の音楽を演奏しました。



打楽器

バケツドラム

【日・場】 10月30日 前羽小学校
11月13日 早川小学校
11月16日 大窪小学校
3月4日 はじめ塾(小田原市民会館 大ホール舞台上)

【出】 バケツドラマーMASA

【内】 バケツなどの廃品を利用したドラムと、塩ビパイプから作ったディジュリドゥ。
リズムによって体を動かし声を出すという音楽の楽しさの原点をみんなで感じました。



ドラム&パーカッション

【日・場】 11月1日 下府中小学校

【出】 大久保 宙

【内】 打楽器奏者の大久保 宙さんが子どもたちにリズムを届けました。世界中の珍しい打楽器の紹介や演奏、楽器演奏の体験もあり、最後は大迫力のドラム演奏で幕を閉じました。

和太鼓

和太鼓ユニット 打楽

【日・場】 9月26日 豊川小学校
10月4日 富士見小学校
10月30日 芦子小学校

【出】 和太鼓ユニット
打楽～DARAKU～
(上野由人、佐藤秀嗣、富田慎平)

【内】 勇壮なみだれ打ち、3人の呼吸がぴたと合った踊り打ちなどを、子どもたちは目を輝かせて聴いていました。沢山の太鼓をみんなが交代しながら体験しました。



英哲風雲の会

【日・場】 11月10日 片浦小学校
11月24日 桜井小学校

【山】 英哲風雲の会(田代 誠、辻 祐、はせみきた)

【内】 世界的に活躍する「英哲風雲の会」のメンバー3人の息の合った大迫力の演奏を、子どもたちは耳だけでなく身体全体で感じていました。体験の時間では、みんな目を輝かせながら大きな太鼓に力いっぱい立ち向かっていました。

【協力】 小田原北條太鼓の会

伝統芸能



狂言

【日・場】11月7日 新玉小学校

【出】大蔵流狂言山本会 山本東次郎家一門

【内】狂言演目「柿山伏」の実演の後は、人間国宝の山本東次郎さんのお話。「狂言」について解りやすく説明してくださいました。体育館全体を使って基本の所作をみんなで体験しました。



落語

【日・場】11月7日 白山中学校

【出】柳家三三(落語家)

【内】小咄「味噌豆」から落語「一目上がり」をお話いただき、生徒などによる落語体験もあり、最後に質問コーナーも。盛りだくさんの内容で日本伝統の話芸を堪能しました。子どもたちの素直な反応に、時代を超えて愛される落語の魅力を感じました。

ダンス

コンテンポラリーダンス

【日・場】11月9日 三の丸小学校

【出】井上大輔、
宮崎あかね(コンテンポラリーダンサー)

【内】からだを自由に動かして表現したり、井上さんの動きの真似から踊りを作ってみたり。自分のからの新しい発見に、子どもたちの心もどんどん開いていきました。



クラシックバレエ

【日・場】9月20日 城南中学校

【出】スターダンサーズ・バレエ団/
小山久美(お話)、加地暢文、柏 知里、
金子紗也、谷川実奈美、松本実湖、
渡辺恭子、渡辺大地

【内】クラシックバレエを間近で鑑賞し、体験するアウトリーチ。知っているけれど、実際に観ることの少ないバレエを間近で体験しました。



美術

造形美術

【日・場】10月18日 曾我小学校

【出】三ツ山一志
(造形家・横浜市民ギャラリー主席エデュケーター)

【内】全校生徒を対象に、「立体の動物」を紙でつくるアウトリーチを開催。色をつけた紙を動物の体にして、みんな思い思いの生き物たちを作っていました。



音楽

小田原カホンフェスティバル2017



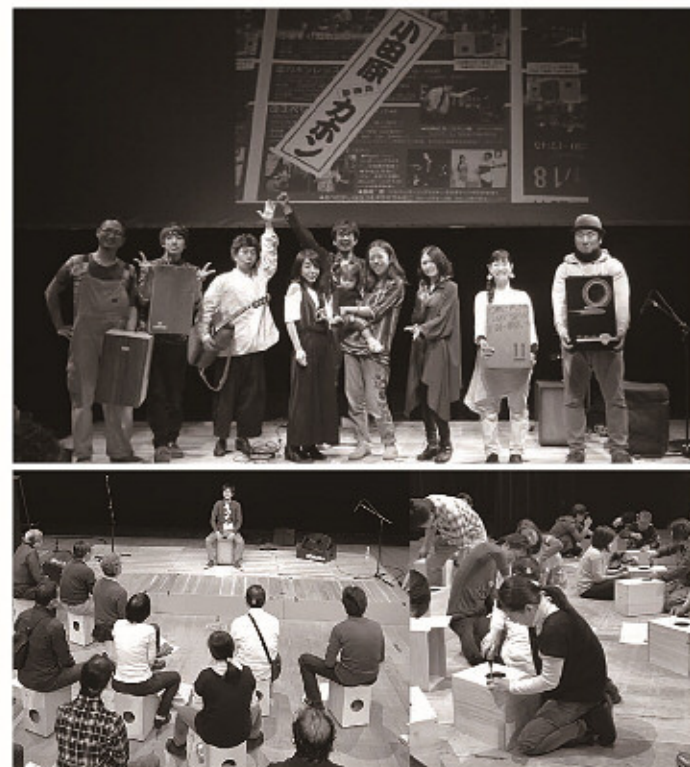
【日・場】11月18日 小田原市民会館 大ホール舞台上

【講師・出演】村岡広司(カホン奏者／叩き方指導・スペシャルライブ企画運営)、
やもとなおこ・Kayo・藤森 愛・あべたかしGOLD&きらきらみさこ
(ゲストミュージシャン)、

おだわら文化事業実行委員会(カホン制作指導／小田原市事業協会職員)

【内】小田原産の木材を使って作る「小田原カホン」の手作りワークショップと叩き方レッスンを開催。出来上がったばかりのマイカホンでレッスンを受けました。後半は、カホンの祭典「ハコフェス」を主催する村岡広司さんの企画運営によるスペシャルライブ。カホン隊をはじめ、東京や名古屋、全国のライブハウスで活躍しているプロのミュージシャンとカホンのコラボ演奏を楽しみました。

【協力】小田原林育会(カホン材料制作)



小田原産木材を使って カホンを作ってみよう ワークショップ (きまつり協力事業)



【日・場】7月29日 いこいの森あそびの広場

【講】村岡広司(カホン奏者／叩き方指導)、
おだわら文化事業実行委員会
(カホン制作指導／小田原市事業協会職員)

【主催】きまつり実行委員会
(事務局：小田原市農政課)

音楽

音楽創造ワークショップ ～童謡meetsカリビアンmusic～

小西英理 鍵盤ハーモニカワークショップ&ガーデンコンサート

【日・場】 レッスン…4月19日・5月31日・6月28日・7月21日 小田原市民会館 小ホール
コンサート…7月29日 小田原文学館 前庭

【講師・出演】 小西英理(カリビアンピアニスト)、森 俊也(ドラム)、大和田 誠(ギター)、小粥鐵人(ベース)、
鍵盤ハーモニカワークショップ参加者

【内】 小田原ゆかりの文学者「北原白秋」の作詞で知られる童謡を、鍵盤奏者・小西英理さんがラテン
&カリビアン調にアレンジし、鍵盤ハーモニカのアンサンブルを体験するワークショップ。
小西さんほかプロのミュージシャンをバックに、小田原文学館・白秋童謡館でのライブ演奏会を
行いました。

【協力】 FMおだわら78.7MHz、(株)ヤマハミュージックリテイリング横浜店



舞台技術

高校演劇部のための舞台技術・演技 ワークショップ

【日・場】 8月2日 小田原市民会館 小ホール(舞台技術)、展示室(演技)

【講】 滝 善光(舞台美術家)…舞台技術
大島寛史・竹村果夏(チリアクターズ)…演技

【内】 秋の地区大会を控えた高校演劇部のみなさんを対象に、舞台美術の大道具を
制作して舞台に設置するワークショップと、演技指導のワークショップの2チーム
に分かれて実施しました。

【共催】 西湘地区高校演劇連盟

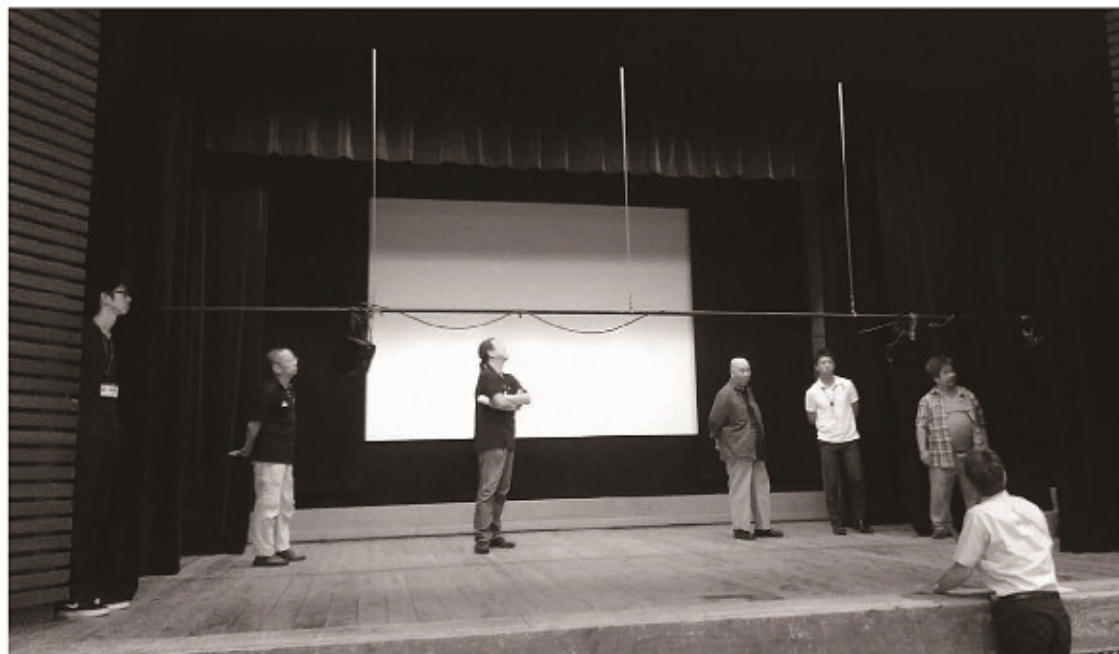
【協力】 小田原市民会館舞台スタッフ



☑ アートマネジメント・ワークショップ2017 〈超実践編〉



- 【日・場】 9月5日～1月30日 全14回 おだわら市民交流センターUMECO 他
 【講】 間瀬勝一(小田原市芸術文化活動専門員・全国公立文化施設協会アドバイザー)
 【内】 事業企画や運営の実践を学ぶワークショップ。今回は小田原市民会館の小ホールを利用した文化事業を企画し、どのように運営を進めていくか体験しました。イベント会場の視察などを通して、文化事業の運営に必要なことを学びました。
 【協力】 小田原文化サポーター



アートマネジメント・ ワークショップ2017制作事業 相州小田原語り道 玉川太福浪曲会



- 【日・場】 1月27日 小田原市民会館 小ホール
 【出演】 玉川太福(浪曲師)・玉川みね子(曲師)、田辺いちか(講談)
 【内】 アートマネジメント・ワークショップ参加者の発案で企画された事業です。伝統的な話芸、浪曲と講談にスポットをあて、いま人気上昇中の若手浪曲師・講談師が登場。今では生の舞台上で聴くことが少なくなった浪曲・講談の魅力を、改めて感じることができました。出演者のお名前になんで用意された大福のお土産も好評でした。

伝統文化

能楽ワークショップ 日本の伝統文化を体験しよう

【日・場】2月17日 小田原市民会館 小ホール

【講】中森賢太、奥川恒治、遠藤喜久、小島英明、中森健之介(観世流シテ方)

【内】伝統芸能のひとつ「能」に出会う機会とし、実演を鑑賞しました。

また、「謡い」を習い、「能面・装束」の説明や、能楽で用いられる楽器を手にとって体験しました。

【共同主催】神奈川県・公益財団法人鎌倉能舞台



おだわら・コども・アート



お魚のお面を作ろう



【日・場】①7月29日 みなとまつりプレイベント(ハルネ小田原)

②8月6日 小田原みなとまつり(小田原漁港特設会場)

【講】三ツ山一志(造形家・横浜市民ギャラリー主席エデュケーター)、
コども・アートお手伝い隊(市民ボランティア)

【内】「みなとまつりプレイベント」と「小田原みなとまつり」に遊びに来た親子に、色紙でお魚のお面を作ってもらい、みなとまつりを楽しんでいただきました。



カラーテープアート@ハルネ小田原

【日・場】9月17日、3月17日 ハルネ小田原

【講】三ツ山一志(造形家・横浜市民ギャラリー主席エデュケーター)

【主催】中心市街地振興課・文化政策課





～おだわら城町アートプロジェクト～



おだわら・コども・アート特別編 みんなでカラダで絵をかくみよう



【日・場】 11月26日 小田原まちなか軽トラ市会場

【講師】 硬軟(千葉大二郎/現代美術家)

【内】 小田原まちなか軽トラ市の会場で、アーティスト扮する“ビッグフット”と絵を描くワークショップを開催。子どもたちは思いもよらない場所でのアートとの出会いにびっくりしながらも一緒に楽しく絵を描きました。

現代アート展&ワークショップ 道行 —みちき— / モスキートハウス



【日・場】 11月23日～26日 旧瀬戸たばこ店

【出展】 硬軟(千葉大二郎/現代美術家)、足立篤史(現代美術家)

【キュレーター】 坂田恭平、中野仁詞

【内】 かつてたばこ屋さんとして賑わっていた空き家の建物で、現代アート作家の展示を開催。来場者に展示を通して建物についての興味を深めていただきました。



スクランブル・ダンスプロジェクト

～障害のある人もない人も共に楽しもう～

【日・場】 ①6月24日、②11月25日、③2月24日

①・②三の丸小学校 アリーナ、③小田原市民会館 小ホール

【講師】 大野慶人(舞踏家)、松岡 大(舞踏家、③のみ)

【内容】 舞踏家 大野慶人さんと松岡 大さんを講師としてお迎えし、大人も子どもも障害のある人もない人もみんなで参加してダンスの公演を創り上げるワークショップを行いました。曲に合わせて、一人ひとり心のおもむくままに身体全体で表現し、みんなでつながりあう空間が生まれました。

【共催】 NPO法人アール・ド・ヴィーヴル

【協力】 大野一雄舞踏研究所



第16回文化セミナー 文化シンポジウム ～障害のある人もない人も 共に楽しむ共生社会に向けて～

【日・場】 2月24日 小田原市民会館 小ホール

【パネラー】 大江耕太郎(文化庁文化政策課文化活動振興室長)、
萩原美由紀(NPO法人アール・ド・ヴィーヴル理事長)、
間瀬勝一(小田原市芸術文化活動専門員)

【内容】 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、障がいの有無に関わらずお互いを理解し合いながらスポーツや芸術文化活動に参加できる「共生社会」実現にむけて、国・地方自治体・民間NPO法人それぞれの活動をご紹介いただきました。

【共催】 NPO法人アール・ド・ヴィーヴル

【協力】 大野一雄舞踏研究所・文化庁

セッション

第14回文化セミナー 「地域発・住民主体のアートプロジェクト」

【日・場】 6月18日 おだわら市民交流センターUMECO 会議室

【講】 松澤利親(葉山芸術祭実行委員)、伊藤裕夫(文化政策研究者)

【内】 今年で25周年を迎える「葉山芸術祭」を中心に、相模湾・三浦半島一帯で行われている住民主体のアートプロジェクトについて、その意義と実施方法を学びました。

【協】 相模湾・三浦半島アートリンク(SaMAL)



文化セミナー特別編 SaMALアートリンクキャラバン 「文化資源×アート」 様々な可能性をみんなで考える

【日・場】 1月20日 板橋内野邸・松永記念館

【内】 市内の歴史的建造物を見学し、文化資源をアートと掛け合わせた時に生まれる様々な可能性について、「相模湾・三浦半島アートリンク(SaMAL)」のメンバーと一緒に考えました。

【共同主催】 相模湾・三浦半島アートリンク(SaMAL)・
小田原市・関東学院大学



コンサート

鑑賞

神奈川フィルハーモニー管弦楽団
金管五重奏 ぴよぴよ♪コンサート

【日・場】9月16日 生涯学習センターけやき ホール

【出】神奈川フィルハーモニー管弦楽団 金管五重奏

【内】未就学児が入場できるクラシックコンサートがほとんどない中、子ども連れで気兼ねなくコンサートに参加していただきました。ディズニーメドレーやクラシックの名曲を聴いて、親子でからだを動かして音楽を楽しんでいました。

【共同主催】公益財団法人 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

トーク&映画上映

セ鑑

講演&映画上映会
「文学と映像 ～創り出す力～」

【日・場】9月2日 小田原市民会館 小ホール

【講】吉目木晴彦(作家・大学教授)、松井久子(映画監督)

【上映作品】「ユキエ」(原作・吉目木晴彦「寂寥郊野」、監督・松井久子)、「折り梅」(監督・松井久子)

【内】小田原出身の吉目木晴彦さんの芥川賞受賞作品である「寂寥郊野」を原作にした映画「ユキエ」、同じく認知症をテーマにした「折り梅」の上映会。作家・吉目木晴彦さんと二つの映画を監督した松井久子さんをお迎えし、二人の作品を創り出すパワーの源についてトークショーを開催しました。

【共催】ハッピーまな鶴プロジェクト



人形浄瑠璃文楽

第15回文化セミナー 「人形浄瑠璃の歴史と相模人形芝居」 ～地域に受け継がれた伝統と技～

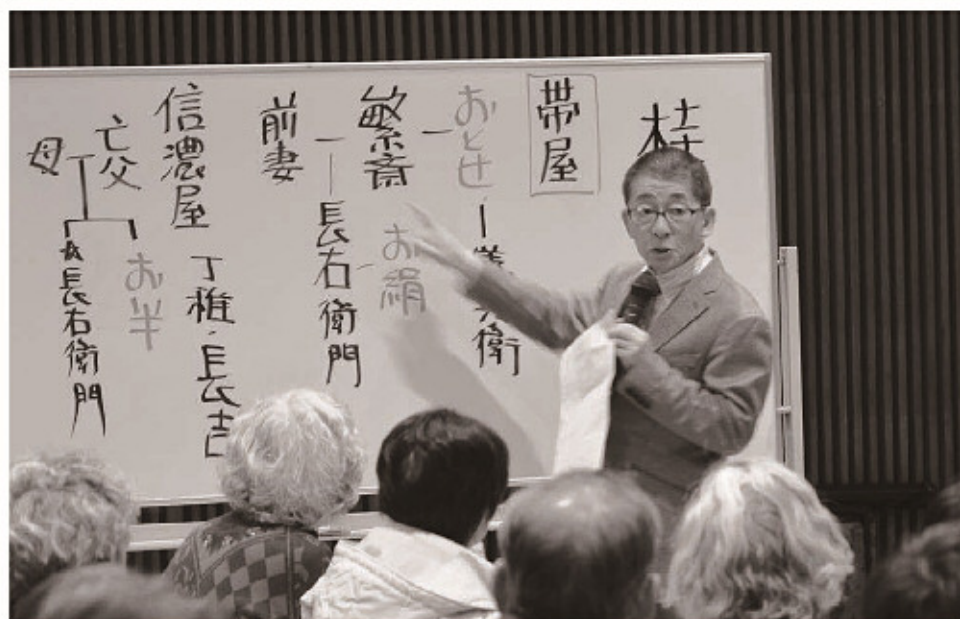
【日・場】1月21日 小田原市民会館 小ホール

【講】平野英俊(舞踊評論家)、林 美禰子(相模人形芝居「下中座」座長)

【内】平野英俊さんからは、人形の歴史と言霊から始まる人形浄瑠璃の歴史を三味線音楽の系統図に従って解説いただきました。林 美禰子さんからは、下中座の歴史やこれまでの活動、後継者育成についてお話しいただきました。下中座座員の方による人形の髪結いの実演もありました。

【主催】小田原市(文化政策課・文化財課)

【協力】相模人形芝居「下中座」



文楽プレセミナー

【日・場】2月4日 小田原市民会館 小ホール

【講】葛西聖司(アナウンサー／古典芸能解説者)

【内】3月に行われる人形浄瑠璃 文楽の小田原公演に先がけ、文楽の基礎知識や、今回の演目「桂川連理柵」「曾根崎心中」の見どころなど、文楽のいろはを学ぶセミナーを行いました。



伝統芸能体験講座 人形浄瑠璃 ～人形が魂を宿す瞬間に出会う～

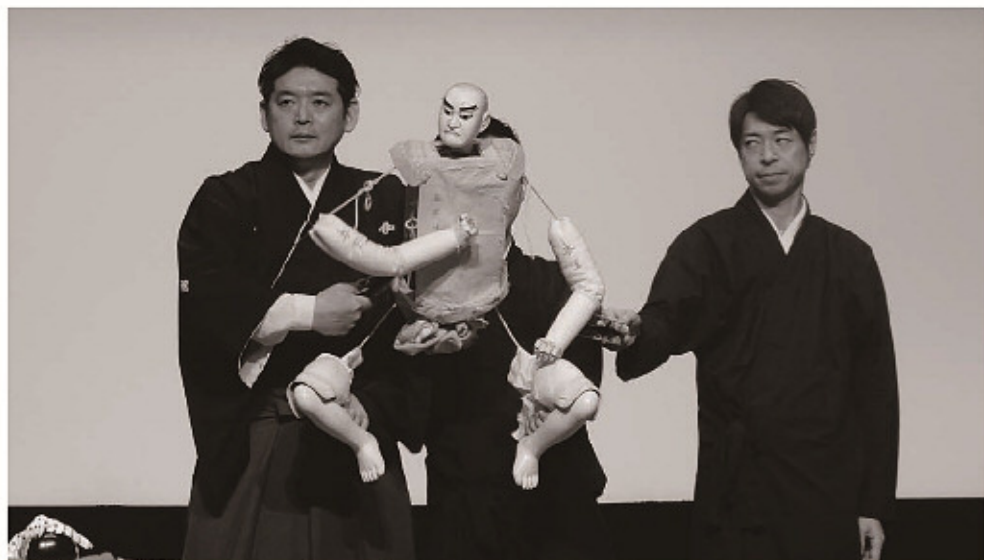
【日・場】12月20日 小田原市民会館 小ホール

【講】吉田幸助・吉田玉勢・吉田玉彦(文楽協会 人形の部技芸員)

【内】小田原の歴史に大変深い縁を持つ「人形浄瑠璃」。

人形浄瑠璃文楽座の人形遣い吉田幸助さんを中心とした3人の人形遣いさんをお迎えし、文楽の解説、実演を交えながら、普段見ることのできない人形の仕組み等を学びました。実際に人形を遣う体験もしていただきました。

【協力】公益財団法人文楽協会／相模人形芝居「下中座」



写真：青木信二

人形浄瑠璃 文楽 公演



【日・場】3月11日 小田原市民会館 大ホール

【出】豊竹咲太夫(太夫)、豊澤富助(三味線)、吉田和生(人形)、他

【講】昼の部「桂川連理柵」 夜の部「曾根崎心中」

【内】小田原での本格的な公演は初めての「人形浄瑠璃 文楽」。上方方面から江戸へ向かう途中のこの地へと伝えられた人形芝居の歴史を辿ることで、伝統文化への関心を高める機会となりました。

【協力】公益財団法人文楽協会

おだわら市民ミュージカル

鑑 小田原時空写真館



【オーディション】5月7日 小田原市民会館 小ホール

【稽古】5月14日～8月25日 全49回

小田原市民会館 大ホール・小ホール・展示室、おだわら市民交流センターUMECO、生涯学習センターけやき ホール・大会議室・視聴覚室、川東タウンセンターマロニエ 会議室、小田原市郷土文化館 会議室、小田原市立三の丸小学校 ふれあいホール



稽古



公演

【日・場】 8月26日・27日 小田原市民会館 大ホール

【出】 オーディションによって選ばれた市民キャスト 32名

【スタッフ】 西川信廣(演出家・文学座)、篠原久美子(劇作家)、上田 亨(作曲家)、室町あかね(振付)、片桐雅子(歌唱指導)、他

【内】 小田原の地域文化資源を題材にしたオリジナルミュージカルを、公募オーディションで選ばれた一般市民32名がキャストとなり、プロの先生方の指導を受けて制作。稽古には10名の市民ボランティアもサポートしました。

脚本だけでなく、ミュージカルナンバーもすべてこの公演のためのオリジナル楽曲。家族の不和により小田原にやってきた女の子が、小田原の人々の助けを借りて成長していく感動のストーリーに、大きな拍手が寄せられました。

【助成】 一般財団法人地域創造、平成29年度芸術文化振興基金





鑑 市民会館所蔵絵画展 よみがえる市民会館の絵画たち

【日・場】 11月22日～26日 小田原市民会館 展示室

【出展】 内田盛雄、奥津 博、柏木房太郎、加藤千枝、門松茂夫、国原美智子、近藤嘉津子、齊藤四郎、杉崎 稔、土田俊一郎、露木康雄、豊島シズ枝、平田勝規、本田希枝、宗方恭子、山本鶴丘

【内】 市民会館所蔵の小田原ゆかりの絵画の補修などを行った、おだわらミュージアムプロジェクトのみなさんが、洋画など17点を一堂に展示しました。小田原の長い歴史の中で培われ、蓄積されてきた美術文化を来場者のみなさんと共有しました。

【主催】 小田原市／おだわらミュージアムプロジェクト



鑑 賞事業アンケート抜粋

【市民ミュージカル】

- ・とってもクオリティが高くて、最初から最後まで楽しめました！小田原名物がいっぱい出てきて、おなががすきました… 小田原城を見た後で来たので、あ、展示で見た！なんて話もあって、とっても楽しかったです。もっともっと小田原のことを知りたくなりました！あったかいミュージカルをありがとうございました！
- ・すばらしかったです。地元ネタ満載ですが、子どもの心、そして子どもを守るべき大人のやるべきこと、心にじんとききました。小田原という自然豊かな地で子育てをしてきて、それをふりかえって涙が出そうにもなりました。改めて小田原の良さに思いをはせた時間でもありました。役者さんたちの素晴らしさにもじんとききました。全員が地元の方ではないのかもしれないけれど、近隣にこんなすてきな方たちがいてくれるのだ、それがプロの脚本とプロの指導と出会ってこんなすばらしい時間ができるのだと思いました。
- ・オリジナリティー溢れていて、小田原の人間としてもとても楽しめました。歌声が心に届き、元気をいただきました。本日の公演のような、楽しく、心に残るミュージカルが見たいと思います。

【ぴよぴよ♪コンサート】

- ・子どもたちが泣いても騒いでもOK。すばらしい。司会の方も動じないところが素晴らしいですね。大人も楽しめた演奏会でした。カバレリア良かったです。
- ・泣いてもいいので、この場に居てください。その声も音楽です！という言葉、素敵でした。
- ・子どもには生の音楽にたくさん触れて欲しいと思っています。こういった場がもっと増えることを期待しています。

【玉川太福浪曲会】

- ・田辺いちかさん、玉川太福さん、どちらも声が素晴らしく、お話も楽しく聞くことができました。講談、浪曲の今までのイメージがかわり、これからも、もっと楽しみたいと思いました。
- ・大の太福ファンなので東京から来ました。いつも都内で聴くのと違う場所や他のお客さんの皆さんの中で、格別の気分になりました。楽しい! ういろう葉(透頂香)も買って大満足の小田原の一日です。ありがとうございます。海岸にも行き、きれいで感激!!
- ・はじめてお聴きし、とても面白かった。このような和の文化を小田原に広められたらと思います。

【人形浄瑠璃 文楽】

- ・学校で担任の先生からおすすめされ、観に来ました。私は、伝統芸能にとっても興味があるのですが、人形浄瑠璃を観るのははじめてで、とてもおもしろかったです。人形が本当の人間のような動きをしていて驚きました。また観たいです。
- ・文楽の中でも特に生で観たかった演目だったので、今回こうして小田原で観ることができて大満足、感動ひとしおでした。文楽はなかなかチケットが取りづらく、また間近で観ることがなかなかできなかったのも、今回の公演は本当にありがたかったです。
- ・初めて見ました。語り手の方が何役も語り分け、人形も生きているような動きに感動しました。三味線の方も間合いをとるのが難しいと思いますが、とてもよかったです。また是非観たいです。すばらしい時間をありがとうございました。



写真：青木信二

• • • • • Questionnaire



共 小田原イズム2017

【日・場】9月16日 小田原アリーナ

【出】ミュージシャン&ダンスチーム、全70組

【主催】小田原市・小田原イズム制作実行委員会・
小田原城ミュージックストリート実行委員会

【協力】LIVE HOUSE 小田原姿麗人



共 小田原城ミュージックストリート

【日・場】10月8日 ストリート:小田原駅周辺9会場／

ナイトタイム：鴨宮駅周辺ライブハウス

【出】公募ミュージシャン 76組、約200名

【主催】小田原城ミュージックストリート実行委員会・小田原市



共 小田原ロックフェス2018

【日・場】3月21日 小田原市民会館 大ホール

【出】 関東学院大学、国際医療福祉大学、小田原短期大学、3U(Universal University Unit)、小田原高校、西湘高校、小田原城北工業高校、小田原東高校、相洋高校、足柄高校、大井高校、山北高校、立花学園高校、平塚商業高校、日大三島高校、小田原東高校吹奏楽部(ゲスト)、相洋高校和太鼓部(ゲスト)

【主催】小田原ロックフェス事務局

(関東学院大学、国際医療福祉大学、小田原短期大学)・小田原市

【協力】小田原城ミュージックストリート実行委員会、一般社団法人ジャパンミュージックストリート、3U(Universal University Unit)



共 オドリズム2018

【日・場】1月6日 小田原市民会館 大ホール

【出】ダンスチーム16組

【主催】小田原イズム制作実行委員会

【共催】小田原市

【協力】小田原城ミュージックストリート実行委員会



共かもめコンサート 若き演奏家シリーズ

【日・場】①4月23日 ②9月24日 ③1月28日 かもめ図書館 視聴覚ホール

【出】①小嶋陽太(テノール)、永井みなみ(ピアノ)

②音楽家のたまごたち

伊藤亮平(ピアノ)、長坂葉子(ヴァイオリン)・三友 優(ピアノ)、久保寺早紀(ソプラノ)・佐藤佑麻(ピアノ)

③相原絵利那(ピアノ)

【運営】かもめ図書館寄贈ピアノ活用実行委員会

【主催】小田原市文化政策課・図書館

郷土の偉人のミュージカル 全国公演初日

ミュージカル

KINJIRO!

～本当は面白い二宮金次郎～

ただの勤勉な学生？
いえいえ、二宮金次郎は
村を救い、人々を救う
スーパースターなのです！

作・作詞・演出
鈴木 聡
作曲・編曲・音楽監督
久米大作
振付
新海絵理子

平成29年5月13日(土)
14時開演(受付13時30分～)

小田原市民会館 大ホール

大人/4,000円 全席自由
小・中学生/1,000円 (各税込)

チケット販売所(窓口販売のみ)

小田原市市民会館 4F
9:00-17:00 土・日・祝日は休み tel 0455-23-1811

小田原市会館
9:00-20:00 月・曜日の曜日以外 tel 0455-22-7190

地下鉄ハルカス駅前カド室内所
9:00-20:00 tel 0455-23-1150

※ 本公演の収益の一部は、市内の福祉施設等に寄付されます。
※ 会場内での飲食・写真撮影・録音・録画等は禁止されています。

公演 小田原市市民会館 4F
9:00-17:00 土・日・祝日は休み tel 0455-23-1811

小田原市会館
9:00-20:00 月・曜日の曜日以外 tel 0455-22-7190

地下鉄ハルカス駅前カド室内所
9:00-20:00 tel 0455-23-1150

共 わらび座ミュージカル 「KINJIRO!」

【日・場】5月13日 小田原市民会館 大ホール

【スタッフ】鈴木 聡(作・作詞・演出)、

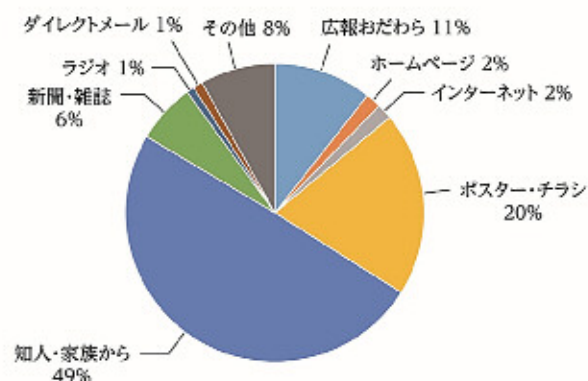
久米大作(作曲・編曲・音楽監督)、新海絵理子(振付)

【主催】「KINJIRO!」小田原公演実行委員会(報徳二宮神社、さがみ信用金庫、箱根温泉旅館ホテル協同組合、小田原箱根商工会議所)

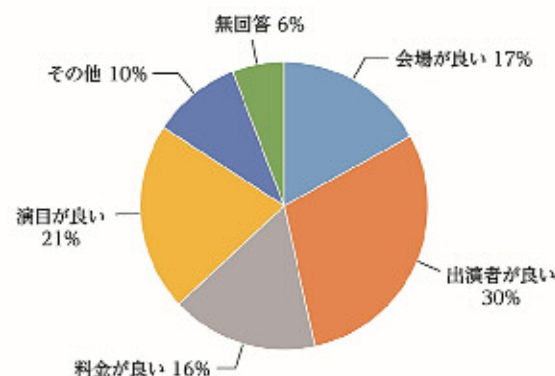
【共催】小田原市／小田原市教育委員会

鑑賞系事業アンケート集計

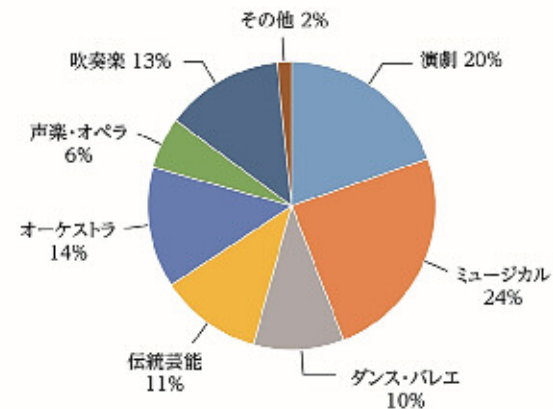
どこで知りましたか(情報入手先)



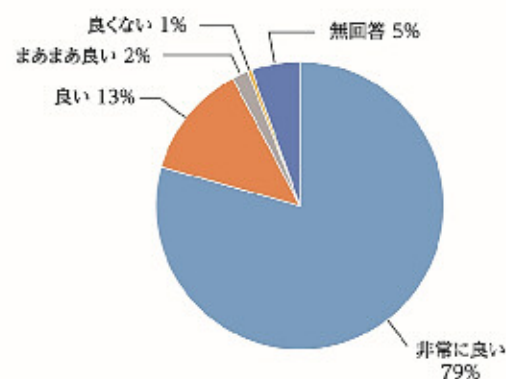
参加のきっかけ(興味・関心)



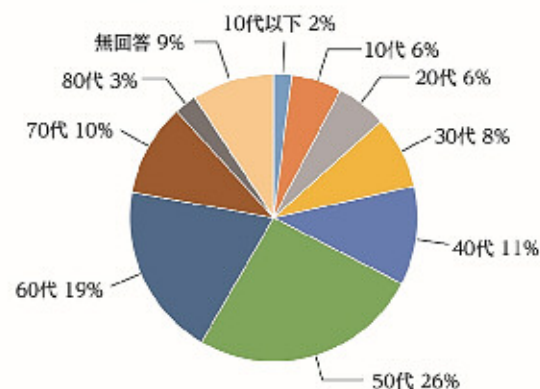
好きなジャンルを教えてください



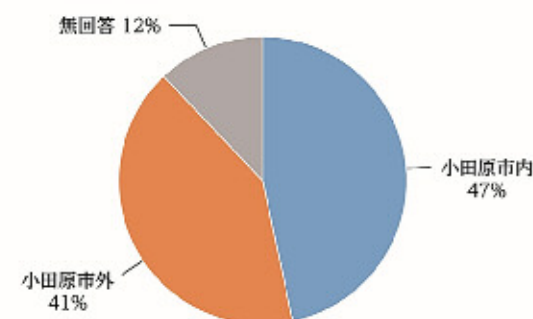
公演はいかがでしたか(内容満足度)



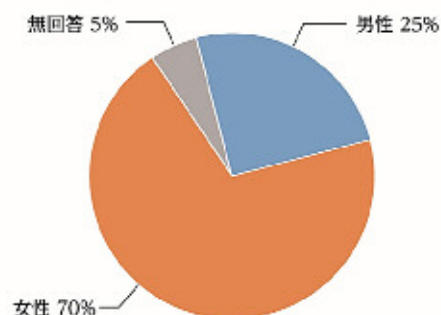
年代



市内外在住



男女比



【対象事業】

事業名	総客席数	入場者	入場率	アンケート回収数	アンケート回収率
●おだわら市民ミュージカル「小田原時空写真館」	2,000	1,060	53.0%	249	23.5%
●神奈川フィル金管五重奏びよびよコンサート	350	345	98.6%	35	10.1%
●アートマネジメントWS制作事業 相州小田原語り道 玉川太福浪曲会	210	158	75.2%	49	31.0%
●人形浄瑠璃 文楽公演	1,698	848	49.9%	109	12.9%
合 計	4,258	2,411	56.6%	442	18.3%

1 アウトリーチ事業  本物に出会う

2 ワークショップ事業  体験し、創りあげる

3 文化セミナー事業  学び、理解する

4 鑑賞事業  感動を共有する

5 共催事業  協力し合い実現する

平成29年度 小田原市文化創造活動担い手育成事業レポート

作 成：おだわら文化事業実行委員会

事務局：小田原市 文化部 文化政策課 芸術文化創造係

〒250-8555 小田原市荻窪300番地